

No	17	分類	3-(2)-ア	資料名	聞いてもらいたいこと	学年	6年	領域	道徳	2-(3)
----	----	----	---------	-----	------------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 自分の思いを語り合うことを通して、互いの生き方や考え方への理解を深めるとともに、受容的な豊かな人間関係や仲間づくりをすすめようとする意欲や態度を身につける。

2 趣旨

- 思いやりの心や分かりあえる喜びを共感するためには、うわべだけで人を判断せず、行動の背景にある心の動きを考えるなどの姿勢が必要である。
- 自分の「つらかったこと」を話す和夫の姿から、表面的にしか相手を見ていなかった自分に気づき、思いやりや想像力を働かせ、相互理解を深めることの大切さを描いている。
- 和夫の生き方と「みさき」の思いを通して、困難に負けず、生きることの大切さを確かめながら、互いを認めあうことのすばらしさを考えさせるよう展開を工夫したい。なお、形式的な自己開示を強制することのないように留意する。

3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 和夫の「一番心に残っていること」について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">和夫の「一番心に残っていること」は何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝早く起きるのがつらかったこと。 ・お母さんのことが心配だったこと。 ・朝の当番ができず申し訳なかったこと。 ・お父さんを助けてあげたいと思ったこと。 ・弟たちに寂しい思いをさせたくないと思ったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成功したことや楽しかったことだけではなく、つらいことのなかにもいろんな価値が存在することを認識させる。 ・家庭の状況などで配慮が必要な児童については、事前指導や保護者の理解と協力体制を整えておく。
<p>2 みんなに話した和夫の思いを考える。</p> <p style="text-align: center;">なぜ、和夫はこの話をしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番ができなかったことでおわびをしたかった。 ・つらかったなかでもうれしいことがあった。（「おはよう」という一言） ・つらく寂しかったことを分かってほしかった。 <p style="text-align: center;">「みさき」には、和夫がどうして大人びて見えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父や母の役割を家族の一員として担っているから。 ・自分たちがやっていること以上のことを朝から行っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ない状況で当番ができなかったにもかかわらず、それを申し訳なく思う和夫の誠実さを感じさせる。 ・みさきをはじめ、和夫の話に真剣に耳を傾ける仲間が存在に目を向けさせる。 ・自分の気持ちを出し合うことにより、人と人との理解が深まることに気づかせる。
<p>3 自己をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ つらいけれど今がんばっていることがあれば発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つらいことのなかにも、価値があったり、将来につながることを理解させたい。